

第五商業高校 平成31年度 現代社会 年間授業計画
 教科:(公民科)科目:(現代社会) 単位数:3単位 対象:(第3学年A組～F組)
 教科担当者:(A組:黒田)(B組:黒田)(C組:黒田)(D組:黒田)(E組:黒田)(F組:黒田)

	使用教科書	東京書籍「現代社会」		
	使用教材	授業担当者作成プリント、視聴覚教材		
	指導内容 【年間授業計画】	科目「現代社会」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	ガイダンス	取り扱う授業内容、授業の進め方、評価方法等を理解させる。		1
	沖縄戦と基地問題について（沖縄修学旅行事前学習）	①太平洋戦争の原因と、変遷を理解させる。 ②太平洋戦争の中で、沖縄戦がどのような特質を持った戦争であったのかを理解させる。 ③沖縄における基地問題の背景、現状を理解させる。	ワークシート、発言	3
5月	民主政治の原理	①民主主義を基本原理とする現代の政治体制は、欧米の市民革命を通じて確立されたことを理解させる。 ②民主政治の基本原理である基本的人権の尊重、人民主権、権力分立について、内容と意義を理解させる。	ワークシート、発言	2
	日本国憲法と三つの原理	①大日本帝国憲法下における天皇の地位と国民の権利保障を学び、同憲法の改正憲法として誕生した日本国憲法の成立過程を考えさせる。 ②民主的で平和的な政府の樹立が求められたことに気づかせ、基本的人権の尊重、国民主権、平和主義が日本国憲法の三大原理であることを理解させる。	ワークシート、発言	4
6月	日本の政治機構（国会と立法）	①国会の役割や権限を理解させ、国会の働きの重要性について考えさせる。 ②国会の構成や運営のしくみを理解させ、国会の課題について考えさせる。	ワークシート、発言	2
	日本の政治機構（内閣と行政）	①日本の議院内閣制のしくみについて理解させ、その課題について考えさせる。 ②内閣の権限を理解させ、行政の民主的統制をはかるために何が必要かを考えさせる。	ワークシート、発言	2
	選挙と政党政治	①間接民主制における選挙の意義に気づかせるとともに、選挙制度の具体的なしくみを理解させ、日本の選挙制度の課題について判例などの資料を用いて考察させる。 ②代表者が果たす役割に関心を持たせ、代表者のあるべき姿について考察させるとともに、政党の意義や与党と野党の違い、政党政治の意味などを理解させる。	ワークシート、発言	3
7月	時事問題	①4月～7月までの、国内・国外で起きた社会問題を取り上げ、その概要を理解させる。 ②上記問題の背景や解決策を考察させる。	ワークシート、発言	2
9月	個人の尊重と法の支配	①司法権は、国民の権利を保障し、法の支配を実現する役割を担っていることを理解させる。 ②国民の権利を保障し、公正な裁判を実現するための制度について考えさせる。 ③日本の裁判所や司法権の特徴と課題、司法権に対する民主的統制の方法について考えさせる。	ワークシート、発言	4
	平和主義と安全保障	①日本国憲法の平和主義について理解を深めさせる。 ②日本の安全保障と防衛体制について理解をさせる。 ③戦後日本の安全保障体制の変遷とその背景を理解させる。	ワークシート、発言	4

第五商業高校 平成31年度 現代社会 年間授業計画
 教科:(公民科)科目:(現代社会) 単位数:3単位 対象:(第3学年A組～F組)
 教科担当者:(A組:黒田)(B組:黒田)(C組:黒田)(D組:黒田)(E組:黒田)(F組:黒田)

使用教科書		東京書籍「現代社会」		
使用教材		授業担当者作成プリント、視聴覚教材		
10月	指導内容 【年間授業計画】	科目「現代社会」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
	地方自治と地域社会	①民主主義の学校といわれる地方自治の重要性に気づかせ、明治憲法下の地方自治と日本国憲法で規定する地方自治の本旨について比較・検討しながら理解させる。 ②現在の地方自治の抱えている問題点などを中央政府との関連で捉えさせ、税制問題や事務内容について理解させる。	ワークシート、発言	2
	市場経済のしくみ	①市場機能が価格の変動を通しておこなう二つの機能について理解させる。 ②市場機能が完全ではないことを具体例を通して理解させ、それをほかんするためにどのような工夫がなされているか、また必要かを考えさせる。	ワークシート、発言	2
	中央銀行の役割と金融の自由化	①金融とは何か、また、金融市場における銀行をはじめとする金融機関の活動と役割を概観させ、金融が経済社会の発展の大きな支えとなっていることを考えさせる。	ワークシート、発言	2
11月	政府の役割と財政	①豊かな社会を実現するためにはどのような条件が必要なのか、社会的共通資本や自然環境の持続的な利用の観点から考察させる。 ②経済活動における政府のあり方、役割についての考察を通して豊かな社会の実現について検討させる。	ワークシート、発言	2
	戦後復興と高度経済成長	①戦後の日本経済の発展は、国民の努力と経済民主化政策や経済復興政策によってもたらされたことを理解させる。 ②高度経済成長が技術革新にともなう生産設備投資と消費革命とよばれる消費需要の拡大によって達成されたことを理解させる。	ワークシート、発言	2
	経済のバブル化とその後・日本経済の現在	①バブル景気の発生と崩壊の過程は、巨額の流動資金による投機市場でのマネーゲームであったことを理解させる。 ②バブル景気後の平成不況について、その状況と背景、今後の日本経済への影響を理解させる。 ③リーマンショック後の日本経済の状況を理解させる。	ワークシート、発言	2
	中小企業と農業	①日本の中小企業の抱える諸課題を、日本経済の二重構造に起因する各種の格差是正の観点から考えさせる。 ②食料自給率の低下の現状を認識させるとともに、農産物の市場開放などの国際化に直面している日本の農業の将来を、食糧安全保障の視点も含めて多面的・多角的に考えさせる。	ワークシート、発言	2
12月	国際社会の成り立ち	①国際社会の成り立ちとその発生過程をふまえ、国際社会のしくみについて理解させる。 ②国際社会を構成する主権国家について、主権とは何かを考えながら、相互の関係について理解させる。	ワークシート、発言	2
	核兵器と軍縮	①絶え間ない戦争の一方で、平和を守り、戦争を防ぐための努力も行われ続けたことを理解させる。 ②軍縮の問題は、兵器を開発生産し、それで武装する人々の政策や組織、目的こそ問題である。その問題解決のために経済格差の是正や民主的政治形態の確保が必要となることを理解させる。	ワークシート、発言	2
1月	民族問題と紛争	①民族とは何かについて理解させるとともに、民族問題が生じる原因を考察させる。 ②民族問題が一因となって、数多くの地域紛争が起こっていることについて、具体例を通じて理解させ、民族問題を解決し、地域紛争を防止するにはどのようなことが必要かを考察させる。	ワークシート、発言	2
	日本の役割	①国際社会は国家間の外交関係によるものだけでなく、国家以外のどのような活動主体の活動によって成り立っているものかを理解させ、その活発な動向について考えさせる。 ②世界で唯一の被爆国であり、経済大国である日本が、国際社会の発展にどのように貢献し、地球的問題に対してどのように取り組むのかは、国際社会への影響も大きく、注目されていることを認識させる。	ワークシート、発言	2
2月				
3月				